

文化表現学科

学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)

建学の理念を根幹とし、現代社会の求める豊かな素養と、柔軟なコミュニケーション能力を備えた有為な人材を社会に送り出すことを目的に、以下のような力と姿勢を身につけた者に対し短期大学士の学位を授与する。

- 1.日本の伝統及び現代文化に加え、異文化に対する理解を深め、多様で寛容な思考や表現ができる。
- 2.他者の主張や考えに耳を傾け、その内容を理解したうえで自分の思いや考えを表現することができる。
- 3.社会の新しい動きに関心を寄せ、絶えず向上心をもって新たな知識や技能、資格を取得し、適切な判断のもとに物事を実践できる。
- 4.礼節・勤勉・協調の精神を持ち、主体的に様々な人々と協働して社会に貢献できる。

教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)

学位授与に必要な知識や能力を習得するために、以下のように教育課程を編成・実施する。

- 1.人間、社会、文化への基礎的な理解と教養を身につけるように編成している。
- 2.多様な表現技法と基礎的な情報処理能力を習得できるように編成している。
- 3.時代に対応した多様な資格課程を設定し、学生がそれぞれの多様な能力を発揮できるように編成している。
- 4.キャリア教育、インターンシップ、ゼミ教育等を通じ、多様なものの見方と豊かな心を育むように編成している。

入学者受け入れの方針(アドミッション・ポリシー)

文化表現学科では、次のような人の入学を期待している。

- 1.知識・技能を積極的に習得し、自ら人間力を育もうとする意欲を持った人。
- 2.日本の伝統文化や異文化への関心を持ち、多様なものの見方や価値観を育もうとする意欲のある人。
- 3.社会の関わりを主体的にとらえ、自らの力を積極的に社会に活かそうとする意欲のある人。
- 4.他者とのコミュニケーションをとり、共生していこうという意欲のある人。

学習成果

文化表現学科の学習成果は、建学の理念を具現化するものであり、短期大学生としての教養を身につけるとともに、現代社会が求める多様なコミュニケーション力や表現方法、有用な資格や技能を習得して、社会において主体性をもって活躍できる力を獲得することである。

学習成果の査定は、教育課程に配置された教養教育科目、専門教育科目、資格課程科目における各科目の成績評価、各種資格取得状況、各種創作作品の取組成果に加え、各科目の授業内容に応じた自発的・自主的な学習の有無や学習への取組（参加）姿勢、発表実績等によって厳密・公正に行う。